

会議結果概要書

1. 会議名	平成29年度 第2回名寄市上下水道事業経営審議会
2. 開催日	平成30年2月13日(火) 午後6時30分～午後7時40分
3. 開催場所	駅前交流プラザ「よろーな」 2階 会議室3
4. 委員	池会長(○)、山上副会長(○) 大野委員(○)、関委員(×)、扇谷委員(○)、伊豆倉委員(○)、 木田委員(○)、小池委員(○)、白木委員(○)、月田委員(×) ※委員10名中8名出席
5. 事務局	天野建設水道部長、粕谷建設水道部次長(兼上下水道室長兼業務課長) 藤井工務課長(兼浄水場長)、西村下水処理場長 山岸業務課主幹、佐藤業務課主査
6. 議題等	協議1「名寄市水道事業経営戦略(素案)」について
7. 会議結果	○協議1「名寄市水道事業経営戦略(素案)」について ・平成29年～平成38年までの投資・財政計画等について説明 ・主な意見、質疑等は別紙1のとおり ○その他 サンプルダム建設事業に関する基本計画(第4回変更)について ・事業の進捗状況、総事業費の変更等について報告 ○次回開催 新年度に平成29年度事業実績等の報告を予定

(別紙 1)

平成 29 年度 第 2 回名寄市上下水道事業経営審議会 主な意見・質疑等

○意見 1 経営戦略の中では「料金改定について、・・・投資財政計画を精査し・・・改めて上下水道事業経営審議会に諮る」と記載されているが、慎重な言い回しの為、料金改定しない場合もあるのではという誤解が生じるかもしれない。料金改定の時期や率について改めて審議会に諮るという形で改定することを文言で明記したほうがよい。

また、投資・財政計画に改定した料金収入が盛り込まれているが、何パーセントか記載がないが、数字が独り歩きしないよう避けたのだと思うが、計画内の数字を説明するために注釈で料金改定率 15%を入れてはどうか。数字が独り歩きしないよう丁寧な言いまわしをしており、そのことは、読めばわかることと思う。

○意見 2 今回の財政シミュレーションでも一定程度の料金改定が盛り込まれ、以前の経営審議会においても一定程度の料金改定が必要と答申されている。料金改定を織り込みながら、改定の時期や率については慎重に進めるということによいと思う。

○意見 3 料金改定は市民生活に直結する大きな問題であり、市民の理解を得づらい部分でもある。慎重に再検討するというはそのとおりだと思う。

○事務局回答

- ・頂戴した意見の趣旨に沿って「審議会からの答申に基づき、料金改定の率や時期など詳細な内容について慎重に協議を進めていく」というような表現を事務局で整理する。
- ・投資・財政計画に料金改定の注釈の追加を事務局で整理する。
- ・市民に幅広く合意をとることが一番の課題であり、そういった意味でも慎重な対応を今後ともしていく。